

「AI発明の保護」報告書に対する批判的検証：現状維持のリスクと課題

1. 調査設計および論理構成の限界

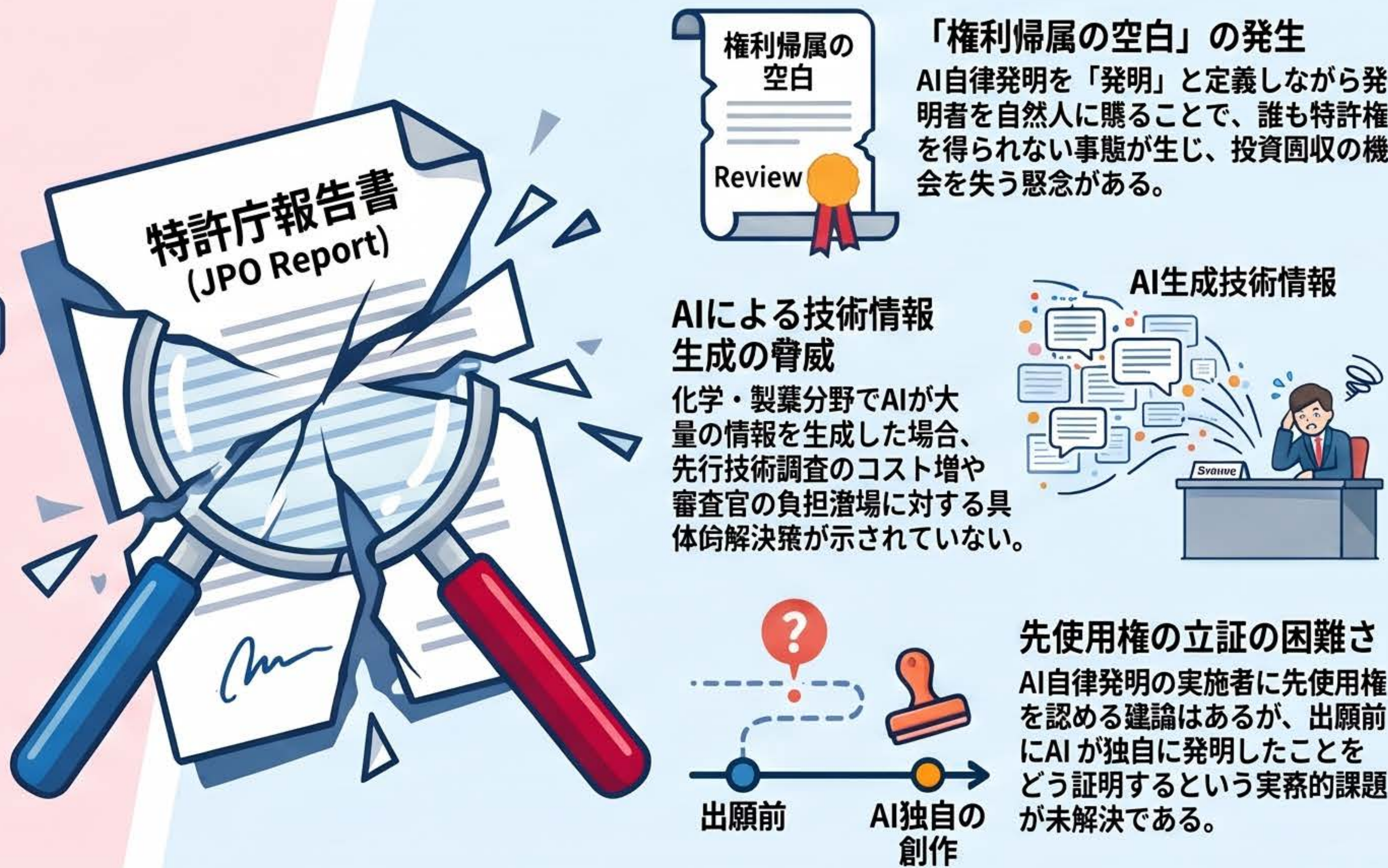


国際的調和への過度な依存



日本の特許法体系に基づいた主体的な解釈が妨げられている。

2. 法的分析における「踏み込み不足」



Purpose: 報告書が抱える主な論点と批判の要約

3. 政策形成資料としての限界と提言

